

## 取扱説明書

### 手回しラジオライト 型番：RAD-M799N 品番：07-3799

このたびは、AudioComm®手回しラジオライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にご使用ください。また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

#### 安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

#### 警告

以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常を感知したら、すぐに電源を切り、使用を中止する。乾電池が入っているときは本機から取り外す
  - ・そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
  - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する
  - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  - ・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

- 本機を分解、修理、改造しない
  - ・火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する
  - ・落雷や感電の原因となります。

- 本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない
  - ・感電や故障の原因となります。

- 本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない
  - ・火災・感電の原因となります。

- 本機の上に、例えば火のついた口ウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない

- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
  - ・交通事故の原因になります。
  - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

- 取り外した乾電池は、小さなお子様に触らせない
  - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

- 点灯中の簡易ライトを至近距離から直視しない
  - ・視力障害の原因となるおそれがあります。

- 本機を布団などで覆わない
  - ・熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

#### 注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる
  - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない
  - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
  - ・落下による故障やけがの原因となることがあります。

- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
  - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。

- 音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けられない
  - ・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かない
  - ・火災や感電の原因となることがあります

- 落としたり、重いものをのせたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
  - ・故障や破損の原因になることがあります。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
  - ・故障の原因となることがあります。

- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
  - ・火災・液もれの原因となることがあります。

- 発電用ハンドルはしっかりと開いてから回す。また、回すときは力を入れすぎない
  - ・ハンドルが破損したり、けがをすおそれがあります。

- microUSB端子及びUSB端子に金属などを当ててショートさせない。使用していないときはカバーをしっかりと閉める
  - ・故障のおそれがあります。

#### 乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

#### 内蔵電池(リチウムポリマー充電電池)について

- 本製品に内蔵されているリチウムポリマー電池は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。また、電池の交換はできません。
- リチウムポリマー充電電池はリサイクルできます。廃棄については各自自治体にご相談ください。

#### お手入れのしかた

表面の汚れは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後から拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しない

#### 発電用ハンドルを使った携帯電話／スマートフォン充電操作時のご注意

- 付属の携帯電話／スマートフォン充電用コードはmicroUSB端子対応です。それ以外の充電用端子を採用している機種の場合は、機器に適合するコネクタ(別売)を接続のうえ、お使いください。
- 発電用ハンドルは1分間に120回が目安です。それより速く強く回しても、充電時間が短くなることはありません。
- 発電用ハンドルを速く強く回しすぎると、携帯電話／スマートフォンに過大な電流が流れ、下記の症状が出る場合があります。その場合は、純正の充電器を使い、安定した電圧電流でしばらく充電すると通常の状態に戻ります。
  - ・携帯電話／スマートフォン本体の電源が切れてしまう
  - ・充電異常などの表示が表れる
- 発電用ハンドルは、しっかりとロックするまで開いてから操作してください。
- 過充電にご注意ください。また、携帯電話／スマートフォンの充電電池部分が熱くなった場合は、すぐに使用を中止してください。充電池に支障をきたすおそれがあります。
- 充電が必要な場合のみご使用ください(電池残量が充分なときは使用しないでください)。
- 携帯電話／スマートフォンの充電池が完全に放電してしまっている場合は、本機を使用しての充電はできません。その場合は携帯電話／スマートフォン付属の充電器を使用してください。
- 以下の行為は絶対にやめてください。携帯電話／スマートフォン本体を破損させるおそれがあります。
  - ・携帯電話／スマートフォン本体に直接接続せず、充電器を経由して充電する
  - ・電池を外して充電する
- 携帯電話／スマートフォンは本機の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが突然消失してしまう危険性があります。したがってあらかじめ別の方法でバックアップをとっておかれることを強くお勧めします。本機の使用により、一時的に通話できなくなったり、メモリーが消失したりしても、当社では責任を負いかねますのでご了承のうえお使いください。
- 本機はPHSには充電できません。また、携帯電話／スマートフォンでも一部の機種は充電できない場合があります。
- 充電能力は、電池残量によって効率が異なります。残量ゼロの場合、充電できないことがあります。

#### 故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●携帯電話／電源切換スイッチが「携帯充電」になっていませんか。「充電池」または「乾電池」に合わせてください。 ●乾電池使用時：乾電池は正しく装着されていますか。乾電池が消耗していませんか。 ●充電池使用時：充電池の残量が少なくなっていないませんか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。
音が小さい	●イヤホンがイヤホン端子に接続されたままになっていませんか。 ●乾電池・充電池の残量が少なくなっていないませんか。

ボタン操作ができない ●ホールドスイッチが有効になっていませんか。

- 雑音が入る
  - 近くで携帯電話／スマートフォンを使用していませんか。充電時以外は携帯電話／スマートフォンを本機から離して使用してください。
  - テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(雑音が入ることがあります)。
  - 発電用ハンドルを操作していませんか(ラジオ受信中に発電用ハンドルを回すと雑音が入ることがあります)。

充電ができない ●パソコン接続時：パソコンの電源は入っていますか(スリープ状態になっていませんか)。充電用コードは正しくパソコンと接続されていますか。

#### 保証書とアフターサービスについて

##### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書が記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

##### アフターサービスについて

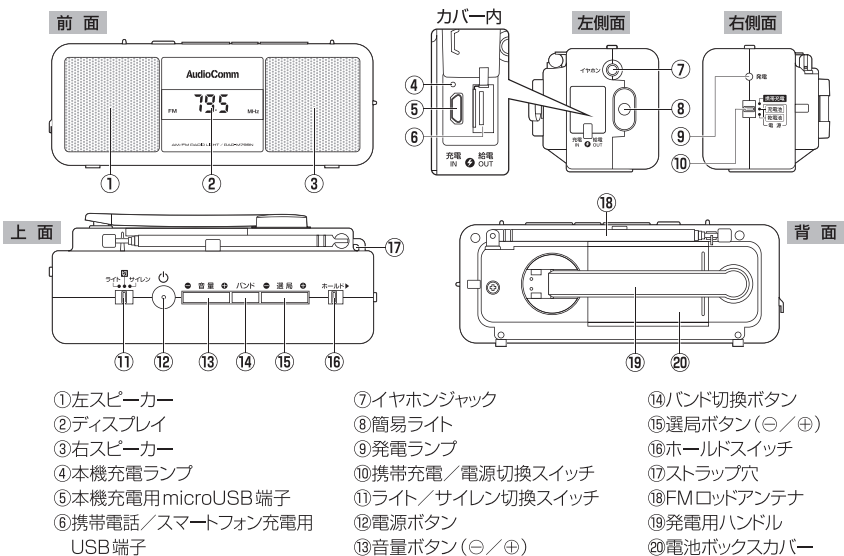
- 調子が悪いときは  
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は  
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### 主な仕様

電 源	乾電池：DC4.5V(単4形乾電池×3本 別売) 内蔵リチウムポリマー充電電池：DC3.7V 500mAh 手回し発電：内蔵リチウムポリマー充電電池使用
周 波 数	AM：522～1629kHz FM：76～108MHz
スピーカ	口径28mm×2
簡易ライト	白色LED1灯
接続端子	イヤホン：φ3.5mmステレオミニジャック 充電：microUSB端子 給電：USB端子
電池持続時間	アルカリ乾電池(新品)使用時：ラジオ／約12時間 ライト／約100時間 内蔵リチウムポリマー充電電池使用時(フル充電)：ラジオ／約8時間 ライト／約50時間 携帯電話／通話 約30分 待ち受け 約40分 スマートフォン／通話 約15分 待ち受け 約18分 手回し発電時(120回転／分で3分間充電した場合)：ラジオ／約30分 ライト／約10時間 携帯電話／通話 約60秒 待ち受け 約65秒 スマートフォン／通話 約20秒 待ち受け 約30秒
外形寸法	幅140.5×高さ56×奥行57mm(突起物含まず)
質 量	約258g(乾電池含まず)
付 属 品	充電用コード(microUSB-USB端子)、保証書、取扱説明書

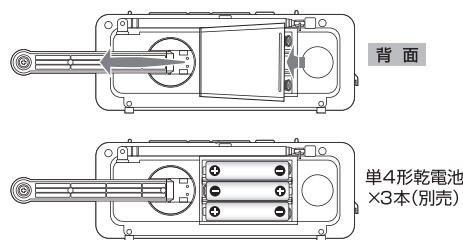
※電池持続時間は目安であり、周辺環境、接続機種、使用状態により異なります。また、ラジオは50%音量にて使用した場合の目安です。  
※外観及び仕様は改善のため予告なく変更することがあります。  
※本書で使用している図版は、実際の製品と形状などが一部異なる場合があります。

## 各部の名称



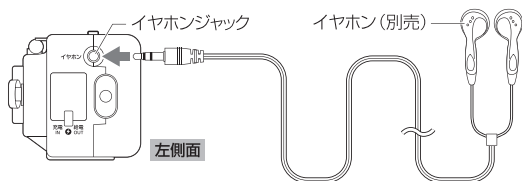
## 乾電池の入れかた

- 1 発電用ハンドルを広げた後、電池ボックスカバーを開けます。
- 2 単4形乾電池×3本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら入れます。コイルバネのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。
- 3 電池ボックスカバーを元どおりに閉め、発電用ハンドルも元に戻します。



## イヤホンで聴く

別売のイヤホン(φ3.5mmミニプラグ)をイヤホンジャックにつなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーからの音は聞こえなくなります。



### ご注意

イヤホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態で接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

## ラジオを聴く

- 1 お使いになりたい電源に応じて、携帯充電/電源切換スイッチを「充電電池」または「乾電池」に合わせます。
- 2 電源ボタンを押して、電源を入れます。電源が入るとバックライトが点灯します。
- 3 バンド切換ボタンを押して、お聴きになりたいバンド(AMまたはFM)を選びます。
- 4 選局ボタン(⊖/⊕)を押して、お聴きになりたい放送局に周波数を合わせます。選局ボタン(⊖/⊕)を長押しすると、周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。
- 5 音量ボタン(⊖/⊕)を押して、音量を調節します。音量の上げすぎにご注意ください。
- 6 終了するときは、電源ボタンを押して電源を切ります。

AM放送の受信表示例 FM放送の受信表示例

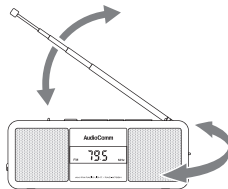
- ご注意**
- 充電電池でご使用の際は、「本機を充電する」をご参照のうえ、十分に充電してから操作してください。
  - ラジオを聴いているときに、発電用ハンドルによる充電またはパソコンなどとの接続による充電を行なうと、受信しにくくなったり雑音が出ることがあります。

## よりクリアな放送を楽しむために…

● **AM放送の場合**  
AMアンテナは本機に内蔵されています。本機の向きを変えて調節してください。



● **FM放送の場合**  
FMロッドアンテナを伸ばし、アンテナの角度や、本機の向き・場所を調節してください。



## ホールド機能

ホールドスイッチを▶側に合わせると、ボタン操作が無効になり、誤操作を防ぐことができます(ライト、サイレンは使えます)。解除するときは元の位置に戻してください。

## ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

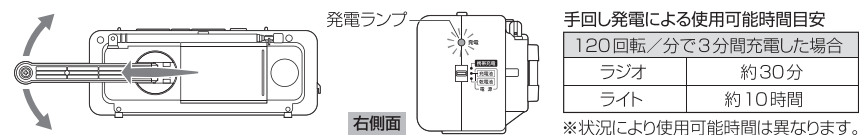
## 本機を充電する(内蔵充電電池に充電)

本機の充電には、

- ① 発電用ハンドルを使用する ② 付属の充電用コードを使いパソコンなどと接続する の2つの方法があります。  
※ 充電電池にて使用中に残量が少なくなると、ディスプレイに電池マーク(⊖)が点滅します。早めに充電し直してください。

### 発電用ハンドルを使用して充電する場合

ハンドルは「カチッ」とロックがかかるまで広げてください(ハンドルは右回し・左回しとも可能で、1分間に約120回が目安です)。発電中は発電ランプが点灯します。



### 付属の充電用コードを使い、パソコンなどと接続して充電する場合

本機とパソコンなどのUSB端子を、付属の充電用コードで接続します。充電ランプが点灯し、自動で充電が始まります。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

### フル充電したときの使用可能時間目安

約2.5時間でフル充電になります。	
ラジオ	約8時間
ライト	約50時間

※状況により使用可能時間及びフル充電までの所要時間は異なります。



## ライト・サイレンの操作



- 1 お使いになりたい電源に応じて、携帯充電/電源切換スイッチを「充電電池」または「乾電池」に合わせます。
- 2 ライト/サイレン切換スイッチを、「ライト」または「サイレン」のいずれかに合わせます。

スイッチの位置	機能
ライト	簡易ライトが点灯します。
サイレン	警報音を発します。

- 3 終了するときは、ライト/サイレン切換スイッチを「切」に合わせます。

### ご注意

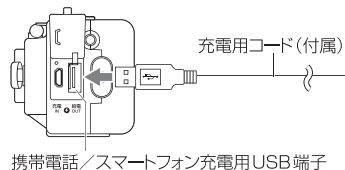
- 簡易ライトをのぞき込んだり、至近距離から人やペットに向けて照射しないでください。視力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- サイレンは、最初の数秒は小さい音で動作し、その後大きな音量になります。非常緊急時を除いて使用しないでください。試験的に使用する場合は周囲に人がいないことを確かめるなど、迷惑をかけないようにご注意ください。また、イヤホンを接続している場合、イヤホンから音が聞こえる仕様となっております。イヤホン使用時にはサイレンは使用しないようにしてください。

## 携帯電話/スマートフォンを充電する

携帯電話/スマートフォンの充電用端子がmicroUSB以外の場合、お使いの機器に適合したコネクタ(別売)が必要です。

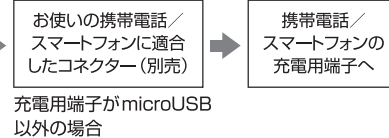
- 1 下図を参照し、本機と携帯電話/スマートフォンを接続します。コネクタの種類や裏表を確認のうえ、正しく接続してください。

### 左側面 カバー内



### 注意

- 形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。
- 充電開始後すぐに携帯電話/スマートフォンに「警告」や「充電をやめてください」などと表示された場合、すぐに充電をやめてください。故障の原因となります。



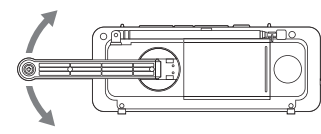
- 2 携帯充電/電源切換スイッチを「携帯充電」に合わせます。内蔵充電電池から自動で充電が始まります。充電状況は携帯電話/スマートフォン側で確認してください。

### 手回し発電の目安

120回転/分で3分間充電した場合		
携帯電話	通話 約60秒	待ち受け 約65秒
スマートフォン	通話 約20秒	待ち受け 約30秒

※使用環境や機種により異なります。

- 3 充電電池の残量が少ない場合は、発電用ハンドルを取り出して回し、発電してください。ハンドルを取り出すときは、「カチッ」とロックがかかるまで広げてください。



- 4 充電を終えるときは、発電用ハンドルを収納し、充電用コードを取り外します。

### ヒントとご注意

- ハンドルは右回し・左回しとも可能です。
- ハンドルを回すスピードは1分間に約120回が目安です。
- 本機の携帯電話充電機能は、あくまで純正の充電器が使用できない場合の一時的な利用を想定しています。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いください。